

A17C

自分らしい住まいが欲しい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたにA C B



□ 家庭訪問「広いマンションに暮らす」
□ 大阪R不動産 業務日誌／アツい物件カタログ
□ 連載・ニッポンの住
・アイトアンドクラフトの輪

・街だのな
・まだがんばってます！
・OSAKA WOW!!

ACBとは

パッケージされたふつうの住まいや旅では満足できない！
というひとたちに向けてリノベーションや、大阪R不動産や、
ホステルロクヨンをやっているアートアンドクラフト社が
発行するフリーペーパーです。

自分らしい住まいが欲しい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたにACB

ACB issue 17

□家庭訪問 「広いマンションに暮らす」・・・・・・・・・・ 02

・都心生活の場合 ○さんの家

・郊外生活の場合 Mさんの家

□大阪R不動産 業務日誌／アツい物件カタログ・・・・・・・・ 07

□連載

・ニッポンの住 017 「いつかは、大きなダイニングテーブル」・・ 09

・アートアンドクラフトの輪 004

A&C 初代棟梁 大宿征夫・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

・まだがんばってます！ 015 「柵の手すり」・・・・・・・・ 13

・OSAKA WOW!! by HOSTEL 64 OSAKA・・・・・・・・ 13

・街だのな 第12回目 by 辺口芳典・・・・・・・・ 14

家庭訪問

都心生活の場合 Oさんの家

STOCK: 中央区界隈に点在する“都住創”の1室、都住創とは、コーポラティブ住宅の草分け的存在で、個性派住戸の集まりから現代版長屋と例えられることも。

93㎡。1979年築。

A&C担当 設計 一森典子／コーディネーター 岡崎麗



←本棚の右半分は元からあったもの。合わせて左半分を作り足した。

「広いマンションに暮らす」

新品にはない個性的なストック、どうせ同じ値段なら中古を買って広く暮らしたい。

思わぬ出会いから広いマンションに暮らすことになったふたつの家族を訪ねます。



←室内に扉はほとんどなし。伸びやかにつながる空間。

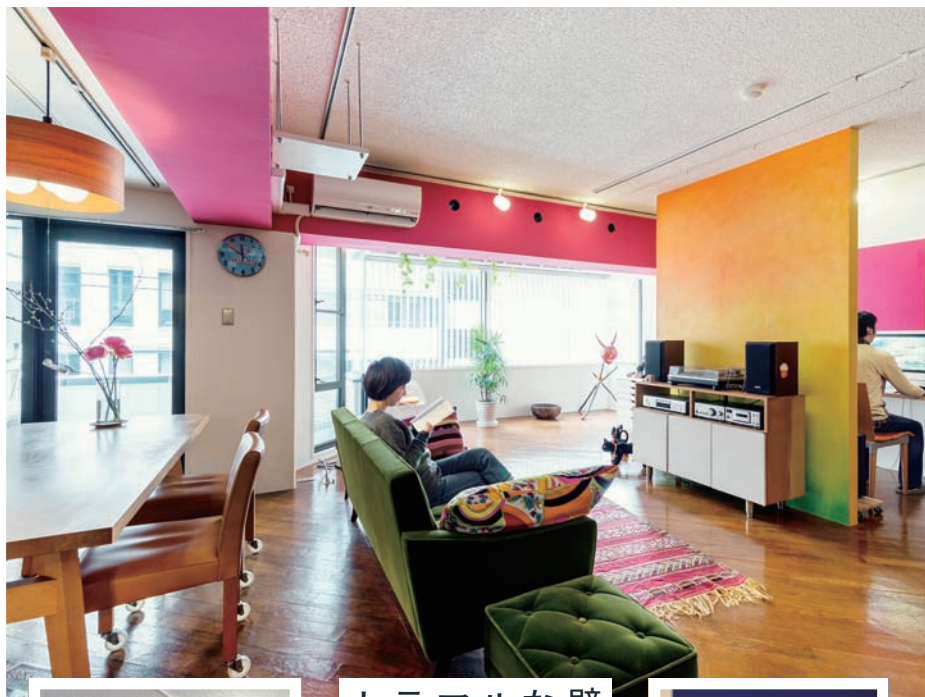
郊外生活の場合 Mさんの家

STOCK: 緑たっぷり、大阪の郊外に建つプール付ヴィンテージマンション。中庭に面した窓台には、各部屋の住人のキャラを映すように多彩な植物が植わっている。

105㎡。1974年築。

A&C担当 設計 木村久美子／コーディネーター 廣川未来

水平窓のある明るいリビング。窓掃除をする時にあらためて広さを実感するそう。



カラフルな壁

梁の印象的なピンクはルイス・バラガンから。他にも、ブライアン・ジョーンズが好きで行ったモロッコの鮮やかな土壁など、発想の源は旅先で出会った風景の記憶から。



神聖な場所

特に信仰心が深いわけではないが、神棚のように「神聖なものに向き直るスペース」があった方がいいということで、家の中に3カ所、ホーリー（神聖）な場所が設けられた。



楽器

ギターにはじまり旅先で買ったナゾの楽器や拡声器など。天満橋がいいと思ったのは“楽器のまち”だったのも理由のひとつ。周辺には楽器の専門店が多い。



都心生活の場合

都心生活の場合 ○さん夫婦(40代)
大学で同じサークルで一緒だったふたり。
ご主人は本職の傍らバンド活動をしている。

— なぜ都住創に住もうと思ったんですか？

広さを意識していたというよりは、寝室とリビングを完全に分けられそうな物件を探しているうちに、自然と都住創に行き当たったというところ。都心で自分の気に入った住まいに住むというのが、都住創の発想だと思いますが、その考え方に非常に共感しました。売り主さんが当時のことや近隣のことを話して下さったのも興味深かったです。また、住んでみて感じたことですが、古くから住まれている方々の共通性が高く、長屋的なのもいいですね。

— リノベーションのどこが面白かった？

グレートリセットでは無く、元々あったものの良さを生かすことが前提でした。古いものと新しいものが混ざり合うのが魅力的だと思ったんです。キッチンや床材は、ほぼそのまま。木の壁、トイレ、浴室には気に入った色を重ねました。色数が多くてまとまりを失いかけた時は、設計の一森さんから助言を頂き、配分や位置の収め方は、さすがプロの仕事だなと感じました。面白かったといえば、大工の棟梁がどこかで出会った気がするなと思ったら、共演したことのあるバンドのドラマーのお父さんだったこと。偶然で不思議な縁を感じました。

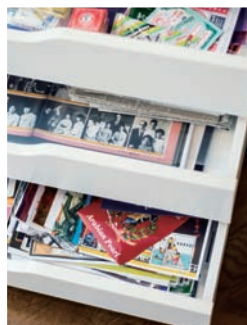
— 色だけじゃなくモノも多いですね。

本や音楽が好きです。興味や関心のあることが一望できるのがいいなと思っていたのですが、前の家では仕舞い込んでしまっていて不可能でした。もとあった本棚に合わせて新たな本棚を作って頂いたので、本の居場所ができました。



つくる時間

印刷物、色紙、絵具などの素材を常にストック。バンドのチラシをはじめ、つくることに没頭するのが無上の喜びの時間。



夕焼け

美術塗装の職人が塗りあげた、リビング中央の壁。実は、ドストエフスキーが描く「世界が溶け合って和解する瞬間」の象徴としての夕焼けがイメージされている。



コーポラティブマンション

入居希望者を集めて組合を結成し、その組合が事業主となって土地取得から設計者や建設業者の手配まで、建設行為の全てを行う集合住宅のこと。外観だけでも住人の個性がうかがえる。

郊外生活の場合

郊外生活の場合
Mさん夫婦(30代)
ともに、住宅設計の仕事をしている建築士。
いわば住まいのプロ。

— えっ！ 玄関が2つありますね？

そうなんです。建築途中に計画が変わって2つになったみたいで。はじめて見た時は予想外のおまけにテンションがあがりました。



— それにしてもこの広さ、どうやって見つけたんですか？

妻が、大学時代に卒論でテーマにあげた程、大阪万博にハマっていました。メタボリズム建築のような勢いとワクワク感がある、あの時代特有の建物が好き。そんな存在感のあるマンションが見つければ理想だなーと。初めは70㎡あれば住めるくらいのもつりで探していて、出てきた物件がここでした。正直なところ、広すぎてどうしようかと焦りましたね。

— 広いのに部屋は2つ、大胆な使い方です。

しかも、扉がほとんどないですね。本当は寝室もオープンにしたかったくらいですが、リビングの中心にある壁が構造壁で、どうしてもないことが途中で発覚。今となっては、この壁で仕切られた景色がおもしろくて気に入ってますけど、構造壁だとわかった時はショックでした。

— おふたりとも建築士。自分で作ろうとは思わなかったのでしょうか？

全くなかったです(笑)。僕たちの仕事は新しくつくる設計で、リノベーションは壊さないとわからないところがたくさんある。同じ住宅設計でもやるのが全く違うんです。かといって、丸投げするつもりもなく初めのプランは自分で描いていきました。A&Cと自分たちのアイデアがちょうど半分づつ混じった部屋だと思っています。

— 実際住んでみてどうですか。

広って単純に気持ちいいんだと。この家ができてからは家で仕事をすることも少し楽になりました。空間によって、アイデアが浮かんだり、仕事へのモチベーションもあがるものですね(あまり家に仕事は持ち帰りたくないですが…笑)。



手描きの 図面

額に入っているのは、自分たちの希望を伝えるのに描いた図面。2つあるのは、取れない構造壁の存在が発覚する前(右)と夢が破れた後(左)。今となっては良いエピソード。





玄関ドア

「ゴミ捨てにはこっちの方が便利で、郵便はこっちに届くので」と使い分けがなされている2つのドア。ちなみに朝は別々のドアから出ていくそう。



玄関というか、もはや部屋？

メインの玄関はおよそ6畳。窓際に趣味のアウトドアものを収納している。道具のメンテはもちろん何なら寝泊まりもできそう。

切り抜かれた四角

一目惚れしたデイベットでビールを飲んだり、映画を見ている時間が至福の時。家の中心を分断する構造壁にある四角い開口から見えるダイニングが好きなんだとか。



ちょっとマニアック

太い梁、低い天井、ベニヤ型枠の名残など、ツボがすでに70年代。「本当に好きな素材を使えたのも嬉しかった」。自分たちの仕事ではご法度である、土間モルタルのヒビですらニヤニヤ見てしまうらしい。



プライベートプール

プールを囲うように、配棟されている遠藤剛生設計の集合住宅。夏は子供で賑わうそうだが、子供だけのものにするにはもったいない！夕暮れ時、ビール片手にお邪魔したいものです。

ある時は物件の窓から、またある時はベンチに腰掛けて、
公園を中心とした「街」と「ヒト」と「不動産（建物）」の関係を観察しました。

スタッフ業務日誌

■この公園ってどうなんですか？

1月0日 公園の観察

大阪R不動産では公園に面した物件を数多く紹介している。星の数ほどある物件の中でも公園に面している物件は数に限りがあるので人気が高い。特に公園に面している物件を一度でも利用したことがある人はやめられなくなってしまうようだ。今日、案内したお客さんも公園向きに住んでいて、オフィスも公園向きがいいという公園リピーターだ。緑に癒される日々は何事にも代え難いよささだといふ。

そのお客さんから「この公園ってどうなんですか？」と聞かれ、思わず「どうって、どういうことですか？」と聞き返してしまった。お客さんは公園の利用者層や雰囲気などを聞きたかったらしい。部屋から眺めるだけでなく、公園で食事をしたり、息抜きしたりしたいので、気持ちよく過ごせる公園がいいそうだ。今まで、物件から公園が見えることばかり考えていたので、この日から僕は物件の取材がてら、お客さんに聞かれてもあたたかいために公園を外から、ときには中からも観察することにした。

■パークサイド小景1

1月△日 ベンチの数

住宅とオフィスが混在するエリアにある公園に面したオフィスを取材し終わったあと、公園全体を見渡せるベンチに座って、公園を観察する。他のベンチでは昼間から大のオトナがタバコを吸ったリスマホをいじっている。彼らは休憩しているのか、サボっているのかわからないが、いくつもの公園を観察して僕はあることに気付いた。「ベンチの数（あるいは、腰かける高さのあるもの）とオトナ数は比例する」のである。公園に来るオトナ達はブランコやすべり台で遊んだりしない。彼らが公園に求めるのは慌ただしい社会から切り離された公園というオアシスでの魂の安らぎ、仕事で疲れた身体を無条件に受け止めてくれるベンチなのだ。ベンチに座るオトナ達は、それぞれの領域を尊重し合っているように、お互い干渉せず自分の世界に浸っているようだった。

■「南向き」より「公園が見える北向き」

◎大阪R不動産物件ツアー

大阪R不動産では普通とは違った視点から物件を紹介している。たとえば、一般的には日当たりがいいという理由から南側にバルコニーがある物件が人気だが、大阪R不動産ではただ南向きというだけでは紹介しない。しかし「南向き神話」はまだまだ根深い。そこで、大阪R不動産では昨年の秋に物件ツアー

を開催して、同じ建物の中で「南向きだが道路と建物に面した部屋」と「北向きだが靄公園に面した部屋」に交互に入ってもらった。

最初に「南向き」に入った参加者は日当たりのよさに満足しているようだった。次に「北向きだが公園に面した部屋」に入るとき、窓から見える公園の緑に、バルコニーからの解放感のある眺めに感動していつまでも眺めていた。

■パークサイド小景2

2月0日 公園で筋トレするオトナ

物件案内の帰り、近道をするために公園を通り抜けることにした。高い鉄棒の下でメガネをかけた色白のひょうとした中年男性がいた。ただならぬ空気を感じたので遠くから観察することにした。しばらくすると色白の男は鉄棒に飛びつき、すさまじいスピードで懸垂をし始めた。彼の体格と顔色を見て貧弱そうだなと思っていた僕は驚いた。あの色白の細い身体どこにそんな力があったのだろう。しかし、15回目くらい腕の力だけでは身体を引き上げることが難しくなったようで、顎がなかなか鉄棒の高さまで上がらない。遠くからでも歯を食いしばって顔を歪めているのがわかる。20回を超えた頃には、真夏の太陽に焼かれたマンホールの上に地中から引きずり出されたミズミズに、全身をくねらせてなんとか身体を引き上げようとしていた。

■はじめての公園物件

3月0日 大阪のオアシス、靄公園

大阪R不動産ツアーの参加者から問合わせがあったので案内することに。公園向きの物件に目覚めたのだろうか。大阪市内での建物に囲まれた窮屈な都会暮らしに疲れたが便利な都会暮らしはあきらめられず、なかでも空の広い靄公園に面した物件を検討しているとのこと。パソコンに向かって仕事をする時間が多いそうなので、公園の緑に癒されてきつと暮らしが豊かになるはずだ。

大阪R不動産では公園に面した物件をたくさん紹介している。公園が近くにある住まいの職場の魅力について、これからもいろんな角度から紹介できたらと思う。

中土喜博

スペインの巡礼の旅で900キロ歩くほど、歩くことが好きですが、物件探しの相棒はレトロな自転車の「フロレン」です。
ときどき物件が人に見えます。

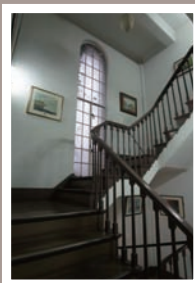




もじゃもじゃ。春から夏にかけては外壁がこれくらい覆われる。

冬は哀愁が漂います。

いえ、ここは北浜。無機質なオフィスビルが多い北浜で、ツタがもじゃもじゃしていて異様な存在感を放つこの建物は、大正10年生まれ。個人邸として建てられたので、どことなく住宅スケール。ステンドグラスや、ねじり細工の階段手摺など建築当初の装飾が各所に残されています。この近代建築の1階、某老舗珈琲店がこのたび退去することに。北浜のビジネスマンや文化人にも愛された老舗の風格を引継ぎませんか？



所在地：大阪市中央区伏見町2丁目

最寄り駅：地下鉄堺筋線「北浜駅」徒歩1分、京阪本線「北浜駅」徒歩4分、

地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」徒歩6分、京阪中之島線「なにわ橋駅」徒歩6分、

地下鉄中央線「堺筋本町駅」徒歩8分

建築構造：鉄筋コンクリート造地下1階・5階建

築年：1921年<登録有形文化財>

所在階：1階

賃料：48万円 共益費：3万円

保証金：480万円

解約引：3年未満50% 3年以上は入居年数に応じる

面積：約100平米

取引態様：仲介

設備：専有トイレ（男女別）、エアコン、厨房設備※、ソファ席※、テーブル席※（※残置物で付帯設備ではありません）

備考：※定期賃貸借契約10年（期間相談可）

※天井のレリーフ以外はほぼ改装OKですが、建物保存のため、内装工事内容については相談ください

※H26年5月末退去予定 ※24時間使用可

※水道光熱費は別途 ※記載の賃料、共益費は税別です

※上階の小さなオフィス区画にも空きがあります。詳細は大阪R不動産サイトをご覧ください



お問い合わせは大阪R不動産サイトの
同名物件の問合せフォームからお願いします。

www.realosakaestate.jp

「いつかはクラウン」。このコピー、知ってます？ 1983年に発売されたトヨタの高級車、7代目クラウンの宣伝文句です。時代はバブル経済へ突入する前夜。国民が車を持つのはもうあたりまえ、さらに上へというメッセージとして人々の心に響きました。では当時の住宅はどうだったかというと、大衆車のカローラがバス便の団地で、憧れのクラウンが都心の高層マンションでしょうか。トレンドドラマの主人公たちは、夜景が見える高級マンションでワイングラスを傾けてました。バブル時代には、床暖房付きの大理石バスルームや、1千万円のドイツ製キッチンで、自分も億ションの図面に何度も描いたものです。ワンランク上、優越感、ちょっと威圧感あるデザイン、偉そう。成功の証しは、右肩上がりのゴージャス1本軸であり、とてもシンプルな時代だったと思います。

でもゴージャスってバカっぽくない？ 際限のないゴージャス軸に疑問をもった人々から、あたらしい価値感を求める声が、世紀末を迎えた先進各国で上り始めました。そこに登場したのが、エコ、ヘルシー、地球にやさしい、持続可能な社会などの、オーガニックな世界観です。実はこれって日本のお得意分野なんですよ。千利休は

500年も前に、「時代はゴージャスからオーガニックだ!」と、秀吉や信長に説きました。豪華絢爛から侘び寂びへの美意識の転換。トヨタは、「21世紀に間に合いました!」というコピーを携え、1997年に世界初の量産型ハイブリッドカー「プリウス」を発売。スーパーカーに飽きた世界のセレブたちがそれに飛びつきました。ライフスタイルの分野では「MUJI」に外国人が禅(ZEN)のイメージを重ね合わせ、安物ではなくブランド品として受け入れました。

でも、残念ながらニッポンの住宅業界からスマッシュヒットは出なかった。ひとえに家が狭いからだと思うんです。分譲マンションなら100平米以上が、世界のスタンダード。欧米だけでなく、開発が進むアジア諸国でも同じです。日本の団地の歴史はわずか50平米から始まりましたから、今でもまだすごく狭い。逆に究極のコンパクトをアピールしたワンルームマンションやカプセルホテルも、面白がられるものの普及まではしない。どうやら世界で広さは必須のようです。日本でも、これから開発する住宅は広いのをあたりまえにすべきだと思うんですよ。いやそうなってほしい。資金がある60代、70代の人たちに新築の広いマンションを買ってもらい、将来半値



中谷ノボル：アートアンドクラフト代表。建築、不動産、旅が仕事のフィールド。2010年HOSTEL 64 Osakaを開業、2011年に大阪R不動産をスタート、いまは沖縄で建築リノベーション真っ只中。1級建築士。船舶は2級。海に沈む夕陽好き。

に下がったそれを若い世代がユーズドで使う。そうすれば広い住宅がストックとして社会に蓄積されていきますから。

では今、いったいどれくらい稼げば、広いマンションに暮らせるんでしょう。住宅価格は年収の5倍以内が望ましいとよく言われます。幸いにして、アジア

の大都市の中で関西はこれでもまだ割安。たとえば大阪なら、100平米超クラスの中古マンションをリノベーションして暮らすのに必要な資金は3,000から3,500万円。てことは、必要な年収は650万円ほど。パートナーがいれば互いに300万円強を稼げば足りるのです。統計では全世帯の上位3割。出世に無欲な

人じゃなければ、あり得ない目標じゃないですね。阪神間や北摂では'70年代のヴィンテージマンション、大阪の都心部ではコーポラティブ住宅の都住創などに広い住戸があり人気です。「中古で安く」ではなく、「中古で広く」という捉え方。そういった価値観で住まいを探す人が、もっともっと増えればいいと思います。広さだけは

リノベーションでも変えられないですから。

さて、広いマンションに暮らす人々の住まいを訪問すると、きまって「大きなダイニングテーブル」があります。思い出すとアートアンドクラフトのお客さん第1号の方もそうでした。新築マンションで暮らし始めたけど、

お気に入りの長さ2mのダイニングテーブルが収まらない。そして、中古だけだ倍の広さがあるマンションに移り住まれました。かつて、住まいの中心にあったのはテレビ。居間がテレビの部屋って呼ばれてませんでした？ 買い替えるごとにテレビの画面は大きくなり、以前より暮らしが豊かになったと実感できたものです。でも今はもう、その



art work by / 佐々木文美

座がテレビからダイニングテーブルに移ったと思うんです。食事はもちろん、家事や宿題や趣味に費やすダイニングテーブルでの時間が大切にされています。そう考えると、今はダイニングテーブルが大きくなるのが、豊かさの尺度なのかもしれません。いつかは大きなダイニングテーブルのある暮らし。次はそこを目指してみませんか！

アートアンドクラフトの輪

いいね！ 友達になりたい！ と、A&Cが勝手に共感した人たちを訪ねます。 聞き手/一森典子（1級建築士） 文/岡崎麗

〇〇大宿征夫／A&C初代棟梁

A&Cってリノベーションの会社ですよね？ と聞かれます。はい。でも中身は不動産屋であり、1級建築士事務所であり、そして工務店。設計をする建築士は、工事が始まると監督として現場に入る、そうやって職人と作り上げるやり方でやってきました。大宿さんは工務店アートアンドクラフトの初代棟梁で、今も現役。第1号物件クラフトアパートメント同心（1998年）にはじまり、幾多の住まいを作り続けている緑の下の存在です。かれこれ15年一緒にやってきた一森と、東成区にある倉庫で大宿さんに会いました。

いち：いつからこの仕事してるんですか？

宿：15の時や。昭和34年の春、就職列車で三重の名張から大阪に出てきて、縁故就職で鈴木工務店ちゅうところに入ったんや。湯井（大宿さんの片腕である大工）ともその頃からやなあ。住み込みで4年見習い、その後2年礼奉公して、29

歳まで家もアパートも文化住宅も建てた。街場の仕事もやってたよ。あの頃建てたやつ、古いけど今もよおさん残ってるわ。

いち：その時に中谷木材（A&C代表・中谷ノボルの生家）に出入りしてたんでしたっけ？

宿：うん。材料取りに来てた。だから社長（ノボル）のちっちゃい時も覚えてるよ。

いち：ノボルさんとはそれからですか？

宿：いや、ぼくはそれから長谷工（※）の営繕まわりをするようになった。マンション買ったら何年保証とかあるやろ？ あれで関西のマンションを片っ端からリフォームしてたんや。社長（ノボル）は、中谷木材の倉庫の2階にアトリエつくった。あの頃ちやうか。会長（ノボルの父）に、息子がなんや作りたいたいしんやけど話聞いたってくれて言われてな。

※当時のマンション業界を代表する会社、長谷工コーポレーションのこと



いち：それがA&Cのリノベーション|作目ですね？私、そのオープンハウスがきっかけで、働かせて欲しいって志願したんです。大宿さんにとって、リノベーションはそれまでのリフォームと違ってました？

宿：一緒や。まあ、難儀なことも多かったけどな。

いち：たとえば？

宿：みんな変なことゆうやんか(笑)。図面描かんと、現場(の石膏ボード)に描くしやな。建具より高いレバーハンドル選びよるしやな。なんでわざわざ壁丸くするんかなあ、四角にしたらいいのにとか。脱衣にトイレってほんまか？とか。

いち：そういえば、部屋の床に全部ゴツイ杉板を敷きたいってお客さんのために、大宿さんが延々と生の足場を削って、サネ作ってくれたことありましたね。でも気づいたら、4mあってエレベーターに載れへんかった。で、10階まで担いで上がった(笑)。あれ以来、材料の長さをちゃんと確認する癖がついたもんね。偶然ですけどあの家、また住む人が変わってリノベーションの依頼を頂いてるんですよ。杉床はめっちゃいい味になってて、そのまま使うんです。

大宿さんと一森は親子のよう。「何しに来たんや」と言いながら、この日はオレンジのシャツを着てきた大宿さん。動いたらあかんって！とようやく写真を撮らせてもらいました。漂うものが渋いなあ。まだまだよろしくお願いしますよ！



おまけ

どうにも自分のことを話しながらない大宿さん。なので、一森が語る、大宿さんのプロらしさについて。

ひとが頻繁に入れ替わるチームも多いけど、大宿さんとこはメンバーがずっと一緒。それぞれの職人がリノベーションに熟練してるし、棟梁に恥かせたらあかんっていう気合いが強い。だからさ、着工の時、一番気持ちいいよ。図面を見て、大宿さんの号令で始まるチームワークとスタートダッシュがすごいから。あとは、年配やのに頑なじゃないとこ。リノベーションって、あえて不完全に仕上げるとか、職人が嫌がる作業が多くて、はじめは「そなんすんの？」と怪訝にしても、そのうち、こう作ったほうが賢いとか、早いとか指導してくれる。どのやり方でも最後の完成形は一緒やけど、伝えあってものが出来上がってく感じが大宿さんの現場かな。



世界中から旅人が集う西区新町の宿、HOSTEL 64 Osaka (ホステルロクヨン)。
「大阪スゲー！ビックリしたよ」。フロント係が耳にした、街で外国人ゲストが体験した出来事とは…。

近隣のお店を紹介するのが私たちの大切な役割の一つだと思っている。けど、時に、ゲストのほうからお店について教えられることがある。

オーストラリアからのイケイケなメンズ2人組、昨日は深夜に帰ってきたようで、ミナミでさぞ羽目を外してきたのかと思いきや、すぐその居酒屋で飲んでたという。街に馴染みすぎて…というか、正直に言うと、これといった特徴がなく、いい味出しているというわけでもなく、アルミサッシの開き戸にヨレヨレの暖簾



HOSTEL
64 Osaka

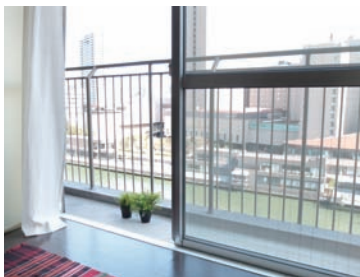
●レトロであたらしい
デザインホステル
1泊3,500円より
www.hostel64.com/

の、言われてみたらあったかも、っていうお店。あんたらようあの店選んだな、と思っていたら、「マスターのタカ(仮称)はめっちゃイイ奴だよ。でもお店の経営状況があんまりで困ってるんだ。だから俺たち今日もタカの店に行ってくるよ!」とのこと。カウンター越しにどんなコミュニケーションがなされたのか。話す言葉も違うのに外国人客を一晚でリピーターにさせる大阪のおっちゃん、さすがやな。

vol.15 まだがんばってます！

建物を解体して再生するリノベーション。その現場で生き残ったモノたちが語ります。

丸見えでいいじゃないですか。せっかく眺めのいい部屋を選んだのに、ソファに座れば壁しか見えないなんてもったいない。え、出し忘れたゴミ袋が見える？



洗濯物が見える？でもワタシ、明るいですよ、風通しのいい開放的な性格ですよ。怖いなんて言わないで、もっと近くに寄って！

「柵の手すり」

建築基準法施行令第126条（屋上広場等）、第一項では「バルコニーその他これに類するものの周囲には、安全上必要な高さが1.1m以上の手すり壁、さくまたは金網を設けなければならない」と記されており、形状や素材の決まりはない。鉄やアルミニウム製の柵のほうがコスト的には安価であるが、比較的あたらしい物件や建て込んだ都心部では、「視かれたくない」という近隣住民への配慮や高級感があるとのことから、鉄筋コンクリート（RC）や型板ガラスで手すりを壁状に作ることが多い。

「街だのな」第 12 回目

「フルーツというタイトルで絵を描こう」

友だちが そう言ったとき

友だちの声は とても優しくかった。

居心地のいい声だった。

のんびりできる部屋のような声。

ゆるやかでリラックスして 僕たちは描いた。

一日一日の暮らしを

淡々と心から楽しむ気持ちが

そのまま赤色になったようなリンゴが生まれた。

